

平成 28 年 第 12 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 28 年 12 月 20 日 開会

平成 28 年 12 月 20 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成28年 第12回定例会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成28年12月20日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第15号 教育長の一般経過報告について
 - 2 報告第16号 平成28年岩見沢市議会第4回定例会について
 - 4 協議 1 2 平成29年度教育委員会関係予算見積り状況について
- そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	渡 邊 律 子
委 員	杉 野 幹 夫

教 育 部 長	山 下 修
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
教 育 施 設 課 長	清 水 誠 志
子 ど も 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	杉 原 理 美
緑陵高等学校事務長	川 原 卓 也
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	井 上 敬 太

午後 2 時 0 0 分 開会

○三角教育長 ただ今から、平成 2 8 年第 1 2 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、武蔵委員さんをお願いいたします。

初めに、日程番号 1、報告第 1 5 号 教育長の一般経過報告について 私から説明いたします。

2 1 日に私が就任し、定例教頭会議、臨時教育委員会、教育長訓示を実施しております。

その後、2 3 日から 2 5 日にかけては職員採用試験ということで、岩見沢市役所採用職員の面接をしております。

2 5 日、岩見沢市 P T A 連合会教育懇談会に、私と全委員さん参加して頂いております。

2 8 日は、岩見沢市政功労表彰式に出席しております。

1 2 月 1 日、小・中学校校長並びに教頭の人事異動辞令交付式を行っております。ここでは、北村中校長、それから南小、志文小、栗沢中それぞれの教頭人事について交付しております。

飛びまして 5 日、市議会第 4 回定例会が開会され、9 日市議会第 4 回定例会の一般質問に立っております。これについては後程、詳しく説明があります。

以上、私から一般経過報告について説明いたしました。

委員の皆様から、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 ありがとうございます。それではご意見ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続いて、日程番号 2、報告第 1 6 号 平成 2 8 年岩見沢市議会第 4 回定例会について 説明をお願いいたします。

○山下教育部長 市議会第 4 回定例会は、1 2 月 5 日から 1 6 日までの会期で開催されました。教育委員会から提案しました議案は、1 つ目に栗沢文化センター指定管理者の指定、これは 1 0 月の教育委員会定例会で議決いただいたものです。2 つ目が栗沢認定こども園指定管理者の指定、これは 1 1 月の教育委員会定例会で議決いただきました。3 つ目が補正予算として、こども園開園準備委託料、それと子ども子育て支援新制度に移行しました、天使幼稚園、聖十字幼稚園にかかる公定価格の改正、また園児が増えたことによる幼稚園児委託料の増額ということでもあります。総務常任委員会では、質疑が特にありませんでした。3 案件とも原案通り可決頂いたところでもあります。

一般質問であります。全部で 1 0 人の議員さんが質問に立たれ、うち教育部には資料にあります 6 人の議員さんから、件数にして 1 2 件の質問がございました。各議員主なものを 1 件のみ説明させていただきたいと思っております。

まず山田議員、教職員の部活動に伴う負担軽減について、部活動に時間を割かれて、テストの採点や評価の仕事を家に持ち帰ることによる事故が発生していないか、また部活動への外部からのボランティア指導員採用の実態について問われました。採点や評価業務を

持ち帰ることは原則禁止としており、過去5年間事故は発生しておらず、また部活動に外部人材を活用しているのは10校中5校で、教職員の負担軽減を図るためにも今後さらに活用を促進していきたいと答えました。

大坂議員の教育推進に関する基本的考え方と、石黒議員の生涯学習推進についての見解、この2つにつきましては、お手元に答弁の全文を配付させていただきましたので、後でご覧いただきたいと思います。

古石議員は、全国学力・学習状況調査について、今年度の結果を踏まえての指導指針を問われ、従前の授業改善や学力向上システムの確立の働きかけに加え、教育長自らが授業参観に出向いたり、安定した学級集団のためのピアサポートなどを働きかけると答えました。

平野議員ですが、指定文化財について、それ自体が知られていない、その価値をどのように活用するのか、また今後の文化財指定と指定によらずとも文化財としての価値を市民と共有していくことについて問われ、周知を図る取り組みにある程度の参加はあるが、参加者が固定化しており、更なる充実が必要、新たな指定については昨年度から取り組んでおり、指定以外にも幅広く価値を共有できる手法を検討すると答えました。

斉須議員については、いじめについて、いじめ防止対策推進法施行から3年を経過したが、自ら命を絶つ悲劇が絶えないことから、対策組織に弁護士などの外部委員を入れるべき、と言った専門家の意見や、人権作文で表彰された中学生の意見を取り入れることも必要ではなど、法律の見直しについての考えを問われ、本市では法律に基づく組織や対策が機能しており、法律を見直すよりもその適正な運用を図っていくことが重要と答えました。

これら12件のほかに、斉須議員と上田議員から、USBメモリー紛失事故を受けての情報管理について、また上田議員から学校をはじめとした公共施設の煙突断熱材へのアスベスト含有調査について、市長に対して質問され、それぞれ教育部に関する部分の答弁を作成したところであります。

以上であります。

○三角教育長 ただ今、報告第16号についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 ご意見ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、日程番号3、協議12 平成29年度教育委員会関係予算見積り状況について を審議いたします。説明をお願いします。

○山下教育部長 平成29年度予算編成にかかる教育委員会関係の予算要望の概要について、私からご説明いたします。

市の平成29年度予算編成方針は、厳しい財政状況の中、人口減少という課題に対し、岩見沢市総合戦略及び市長選挙における公約、また当選後の所信表明を踏まえ、引き続き行政改革大綱に沿って、主要施策をはじめ積み重ねてきた各施策のステップアップを図る

ということであります。

資料2-4をご覧ください。

一番下の合計欄ですが、教育委員会関係の平成29年度予算要求ベースで、事業費は82億4,800万円となっております。平成28年度の当初予算額64億3300万円と比較しまして、18億1,500万円の増となっております。

事業費を確保しつつ、一般財源、市税や地方交付税といった、使い道を制限されない財源が減っていくことに対処をしなければならないわけではありますが、その一般財源の前年度との比較でも、4億2,000万円増、13%増という状況であります。昨日開催された庁議で、一般会計当初予算の要求ベースで34億2,300万円の収支不足の状況にあると報告されたところであります。

今後、企画財政部長ヒアリング及び市長リアリングにおいて、厳しい査定が行われる予定であります。

以下、各課長から主要事業についてご説明いたします。

○加藤学校教育課長 それでは、私から順次説明をさせていただきます。

説明する前に、資料2-1をご覧ください、資料2は、教育委員会事務事業一覧表でございます。ここで学校教育課所管分について、番号が学教1から学教19という番号が振られてますので、この内、主なものを資料1-1の順にしたがってご説明させていただきたいと思っております。

資料1-1にお戻りください。

それでは、学校教育課所管分の平成29年度新規主要事業についてご説明をさせていただきます。

はじめに学教3、教育情報化推進環境整備事業でございます。4点記載されておりますが、ICTを活用した事業の促進のための教育用コンテンツの作成や、教員の情報研修等にかかる経費、あるいはテレビ会議システムを活用した遠隔学習の経費、ホームページの更新などの経費でございます。総額で745万9,000円となっております。

続きまして学教4及び5、教育用コンピュータ整備事業でございます。教育用コンピュータ整備事業につきましては、PC教室の授業用のPCあるいは教員用のPCを5年間長期継続契約としながらリースを行っております。小・中学校合わせまして、6,978万7,000円となっております。小・中学校の内訳につきましては、それぞれ記載のとおりでございます。

続きまして、学教6、学校図書館資源共同利用事業でございます。これにつきましては、市内小・中学校及び緑陵高校におきまして、システムの導入及び市立図書館との連携により学校図書館の積極的な活用を推進しながら、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させる目的のためにかかる経費でございます。学校図書館システム、5年間リースの1年分599万5,000円及びそれにかかる保守点検料約240万など総額876万8,000円となっております。

続きまして、学教 8 及び 1 4、学校管理事業でございます。総額で 4 億 2, 1 3 3 万 6, 0 0 0 円となっております。主な事業といたしましては、学校図書館用図書の年次整備として、小学校で 6 0 0 万、中学校で 4 0 0 万、合計 1, 0 0 0 万の図書経費の配当予算となっております。教材教具の整備や理科教材予算等といたしまして、小学校 1 校あたり 5 4 万 3, 0 0 0 円、昨年同様の予算を見込んでおります。学校施設整備備品ということで、小学校が 1, 1 2 8 万 8, 0 0 0 円、中学校が 5 2 5 万 7, 0 0 0 円でございます。これにつきましては机・イス・ストーブ・芝刈り機・除雪機・ピアノなど、年次計画で更新を出しているところでございます。中学校体育大会参加補助金につきましては 5 0 0 万円、昨年同額でございます。

続きまして、学教 1 0、スクールバス運行管理事業でございます。スクールバスの更新が主なものでございまして、平成 2 9 年度につきましては、栗沢コースを走っているバスを更新したいと思っております。このバスは現在約 4 0 万キロ以上を走行しているバスでございます。かかる経費、維持管理経費を含めて 9, 2 8 9 万 4, 0 0 0 円を計上しております。

続きまして、学教 1 1 及び 1 6、就学援助事業でございます。総額で 4, 5 3 6 万 2, 0 0 0 円を計上しています。生活保護受給世帯及びこれに準じる就学が困難と認められる世帯の児童ないし生徒の保護者に対して学用品費や体育実技などの補助を行います。

最後に、学教 1 9、奨学金給付事業でございます。これは新規事業でございます。経済的理由が生徒の大学等への進学への妨げにならないように、児童養護施設退所者などに対し奨学金を給付するという事で、入学金が 3 0 万円、かかる経費を積算いたしまして、月額当り 1 万 7, 0 0 0 円を見込み 1 2 か月分 2 0 万 4, 0 0 0 円、合計しまして 5 0 万 4, 0 0 0 円でございますが、児童養護施設退所者を今年度は 2 名ということを見込みまして、2 名分ということで 1 0 0 万 8, 0 0 0 円を見込んで計上しているところでございますが、委員の皆さまご承知のとおり、国がこの給付型奨学金の制度を、文部科学省が財政当局との調整をしながら、市で考えていたことのプラスアルファでの支援を行うような考えが報道されています。これにつきましては、国の予算の中で手当てをされる場合については、市単独予算として計上を見送るという形になると思っておりますけれども、これもまだ財政当局との調整が必要と考えております。

以上でございます。

○兼平指導室長 指導室について説明をさせていただきます。資料 1 - 2 をご覧ください。

はじめに指導 1、児童見守りシステム推進事業でございます。児童の登下校時の安全安心の確保のための事業でございまして、システム管理のための費用、それから I C タグの購入費などがございます。

次に指導 2、子どもがかがやく学校活動支援事業でございます。昨年までのみらい広がる学校活動支援事業をリニューアルし、各学校が企画立案する事業を支援し、学校支援ボランティアを各校に派遣するため 1, 5 4 1 万円計上しております。

次に指導 3、特別支援教育推進事業でございます。昨年度と同じく、特別支援教育支援員 25 名に加えまして、新たに医療的支援が必要な児童のために、学校看護師 1 名の配置を計画いたしました。

次に指導 4、教育指導振興事業でございます。来年度は文部科学省の指定事業、コミュニティスクール推進事業、それから北海道教育委員会の指定事業、道徳教育推進校事業の予算を計上しております。

続いて指導 5、外国語指導助手活用事業でございます。これまでと同様 A L T 9 名の配置を計画しております。

次に指導 6、教育支援センター事業でございます。来年度は特別支援教育の充実改善を図るため、特別支援教育専門員の配置を要望しております。

次に指導 7、学力向上対策事業でございます。土曜学習会に関しましては、講師人材の確保、それから備品購入のため 120 万円ほど増額を要望しております。

最後に教育研究所運営事業でございますが、予算的には現状維持でございます。

以上です。

○町田学校給食課長 学校給食課の見積り内容についてご説明いたします。

資料 1－3 でございます。

まず、給食 1 の学校給食共同調理所運営事業でございます。この事業は市内の小中学校 25 校に、年間 190 食を基準とし給食を提供するものでございます。主な内容といたしましては、共同調理所の維持管理の光熱費といたしまして、3,688 万 1,000 円を計上しております。また、学校給食で出る野菜くずや食べ残しなどの残渣を、たい肥化するための、生ごみ処理手数料といたしまして 330 万 5,000 円を計上したほか、岩見沢共同調理所の調理等業務の委託費として、1 億 231 万 3,000 円を計上したところでございます。

次に給食 2 の学校給食共同調理所整備事業でございます。日本一安全で子どもたちに喜ばれる学校給食をめざし、駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地に、新学校給食共同調理所を整備するもので、今年度は着工済みでありまして、来年度完成のために工事請負費として 21 億 4,232 万 4,000 円、備品購入費として、厨房設備備品の購入に 6 億 8,311 万 6,000 円を計上したところでございます。

次に資料 1－4 をお開きください。

給食 3 の学校給食共同調理所車両運行管理事業でございます。この事業は、3 か所の調理所から各学校に給食を配送する車両の運行事業でございます。学校給食配送等業務委託料としまして、4,022 万 8,000 円を計上しております。

以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課の予算につきまして説明いたします。

はじめに、生文ス 2、市民の学び支援事業でございます。要求額 993 万 5,000 円

を計上しております。いわみざわ市民大学や小中学生を対象にした体験教室のいわなびチャレンジスクール、高齢者対象講座の開催など幅広い世代への学習機会の充実に取り組んでまいります。

次に生文ス9、岩見沢郷土科学館管理事業でございます。要求額2,245万6,000円を計上しております。郷土科学館や生涯学習センターを会場に、科学・創作・天体等に関する学習機会の提供を図ってまいります。また郷土科学館の再整備に向けた検討委員会を設置し、リニューアルの基本構想、基本計画の策定を進めてまいります。

次に生文ス10、地域文化振興事業でございます。要求額608万1,000円を計上しております。子ども文化祭や市民の文化祭などの文化事業の開催をはじめ、文化団体の自主的な活動や芸術文化にかかわる全国大会出場に対する支援を行うとともに中学生以下を対象にした囲碁教室や全道規模の囲碁大会の開催に対する支援を行ってまいります。

次に生文ス11、文化のまちづくり事業でございます。要求額1,200万円を計上しております。事業主体となるNPO法人に対する補助事業でございますが、野外音楽堂や市民会館文化センターなどを会場に、演劇や演奏、クラシックコンサートなど多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供してまいります。

次に生文ス17、健康・スポーツ振興事業でございます。要求額1,090万1,000円を計上しております。歩く健康づくり事業の歩け歩け大会やウォーキングマラソン大会などのほか、小学校低学年向け運動教室の楽しいキッズスポーツ教室の実施など、スポーツ事業を推進してまいります。ウォーキングマラソンにつきましては、来年度第30回の記念大会となりますので、コースの見直しや抽選による特産品等の提供を予定しております。またトップアスリートが直接指導をするスポーツ教室や全国大会出場等に対する支援を引き続き行ってまいります。

次に生文ス26、オリンピック・パラリンピック推進事業でございます。2020年東京パラリンピックに向けた合宿誘致などに係る予算として、要求額1,166万7,000円を計上しております。来年度は誘致活動を継続するとともに、合宿の可能性のある国内外3競技団体受け入れにかかる予算として1,070万円を見込んでおります。具体的な競技団体は国内がウィルチェアラグビーと車椅子フェンシングの日本代表、海外はカナダのウィルチェアラグビーチームでございます。現在合宿の実現に向け交渉を続けているところでございます。また障害者スポーツの周知を図る体験イベントには、引き続き補助金を交付するなど開催を支援してまいります。

次に新規になりますけれども、北村ゲートボール場整備事業でございます。北村ゲートボール場の移転整備のため、工事請負費700万円を計上しております。北村遊水地事業に関わり遊水地内で移転対象となっております、豊里地区自治会館の移転先として、北村ゲートボール場の敷地が候補地となったため、新たなゲートボール場を北村赤川の北村環境改善センター横にございます公園敷地に整備するものでございます。コート面積につきましては、今と同じく2面。工事期間は7月から9月までの3か月間。10月供用開始を

予定しておりますが、移転する自治会館につきましては、平成30年度の整備予定でありますので、ゲートボール場の利用に支障なく活動を続けていただけます。

最後になります、生文ス8・14～16・19～25、社会教育施設等管理事業でございます。指定管理者制度を導入しております施設の運営にかかわる予算でございます。社会教育施設の委託料1億4,201万1,000円、社会体育施設の委託料2億524万円合計3億4,725万1,000円を計上しております。

以上でございます。

○清水教育施設課長 教育施設課の予算の見積りについてご説明いたします。

はじめに教施1の教職員住宅管理事業でございます。教職員の良質な住環境の提供を図るために、60戸の維持管理補修のため853万5,000円を計上しております。

続きまして、教施2・5、校舎等管理事業でございますが、学校施設の維持管理、計画的な整備の更新・整備のため、小学校中学校合わせまして1億5,612万9,000円を計上しているところでございます。

続きまして、教施3、学校プール管理事業でございます。現在小学校7校にプールを設置してございますが、計画的に修繕を行っているところでございますけれども、プールシートとの交換につきましても計画的に行っており、平成29年度は日の出小学校のプールシートの取替を含めまして、825万4,000円を計上しているところでございます。

続きまして、教施4、小学校校舎等改築事業でございます。現在設計を行っております中央小学校につきましては、平成29年度から2か年工事の計画となっております。平成29年分として1億9,071万1,000円を計上しているところでございます。

続きまして、教施7～17、社会教育施設等管理事業でございます。安全で快適な文化・スポーツ環境の提供を図るために、文化施設・体育施設など社会教育施設の整備といたしまして、1億2,919万円を計上しております。主な整備内容といたしましては、市民会館文化センター管理事業としましては、市民会館のボイラーインバーターユニット取替修繕が454万2,000円、野外音楽堂管理事業としまして、トイレ前管理道路の舗装修繕168万5,000円、東山・岡山地区スポーツ施設運営事業として、東山公園弓道場の防矢ネットの設置工事として399万6,000円、鉄北地区スポーツ施設運営事業としまして、総合体育館の床下暖房配管等修繕として1,388万6,000円、温水プール・北村プール運営事業としまして、北村プールトイレ洋式化等修繕として124万5,000円、北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場運営事業としまして、多目的体育館の非常照明蓄電池取替修繕が159万9,000円、栗沢スポーツ公園運営事業といたしまして、栗沢球場放送設備修繕が125万3,000円、栗沢プールろ過装置五方弁修繕として135万円、栗沢B&G海洋センターの屋根・外壁改修工事として9,200万円を計上しているところです。

以上が主な社会教育施設の整備内容となっております。

続きまして、教施18、栗沢文化交流施設整備事業でございます。栗沢文化交流施設に

つきましては、建設場所や機能について利用者の方地域の方々と意見交換などを行いました。現在基本計画の策定に取り組んでいるところでございますけれども、平成29年度には、基本設計に着手するため、基本設計委託料として1,984万円を計上しているところでございます。

教育施設課の説明は以上でございます。

○所子ども課長 子ども課の主要事業等について説明をさせていただきます。

はじめに子ども1、子ども・子育て支援事業です。子ども・子育てプランに基づき、子育て支援にかかる事業を実施いたします。子育て支援センター、親子ひろば、ショートステイ、ファミリーサポート支援者育成などに約2,730万円を見積もっております。今年度新規事業として、夜間・夜10時まで児童養護施設で子ども預かるトワイライトステイを上挙げてます。

次に子ども2、児童療育事業です。障がいの早期発見、早期療育を目指して、社会福祉協議会に委託する児童発達支援センターの運営費です。見積額は昨年と同額です。

次に子ども3、産前産後ヘルパー事業です。産前産後の子育て家庭の負担軽減のため、1回2時間を上限に20回、計40時間まで利用できるという制度です。28年度からは通院時の付添いなど外出の同行に限り、40時間の範囲内で1回3時間まで認めるよう要件を緩和しています。見積額は前年と同額です。

次に子ども5、あそびの広場運営事業です。であえーる岩見沢3階のあそびの広場の運営費で、振興いわみざわに指定管理委託をしています。見積額は前年と同額です。

次に児童厚生施設運営事業です。市内の12児童館と栗沢の来夢21子ども館の運営費です。年次計画に基づく改修ですが、東栄児童館遊戯室の屋根改修のため約670万円を見積もっています。また中央小学校の移転に合わせ稲穂児童館を校地内に整備するため、設計費1,240万円を見積もっています。

次に子ども7、児童厚生施設改修事業です。新規事業になります。耐震診断の結果、改修が必要とされた美園児童館の耐震改修です。耐震改修に合わせて増築も行い、放課後児童クラブの2単位80名の受け入れに対応いたします。改修期間中の放課後児童クラブですが、美園小学校と春日児童館で受け入れをする予定です。

次に子ども8、青少年対策事業です。青少年センターを中心とした補導活動や、環境浄化モニターによる巡回を行うための経費です。

次に子ども10、留守家庭児童対策事業です。仕事を持つ保護者などの支援並びに放課後児童の健全育成のため、児童館を中心に15か所で放課後児童クラブを運営します。また有料で運営する民間放課後児童クラブに対し、国の補助基準に基づき運営補助を行います。昨年まで2か所だった民間クラブですが、おおぞらクラブが本年度末をもって廃止となるため、運営補助約400万円が減となっています。また平成30年度からの高学年拡大に向け、学校など新規の受け入れ施設において施設改修を行うため、約1,000万円の修繕料を見積もっています。

次に子ども11、保育所入所運営事業です。児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童のため認可保育所への入所に関する費用として約11億7,000万円、ひまわり保育園の改築補助として約9,500万円、その他特別保育事業への補助などを合わせて約13億円を見積もっています。

次に子ども13、病児・病後児保育運営事業です。病児保育を市立病院院内保育園に併設する施設で、病後児保育を東保育園で実施しています。今年度の実績をみますと、病児保育は昨年並み、病後児保育は昨年より伸びているものの、稼働率が17.6%と低い状態が続いています。

次に子ども14、栗沢地域子育て施設等整備事業です。平成29年4月に開設する予定の栗沢認定こども園の外構工事として、すみれ幼稚園の解体と、園庭の整備費として約7,900万円を見積もっています。

次に子ども15、栗沢認定こども園運営事業、新規事業です。市議会第4回定例会において、指定管理者として栗沢保育会を指定いたしました。認定こども園の指定管理委託料として、約6,800万円を見積もっています。栗沢認定こども園では、気管切開など医療行為が必要となる子どもの保育を行うため、看護師の配置を行う予定になっています。

次に子ども17、幼稚園入所運営事業です。子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園の運営費です。平成29年度には、聖十字幼稚園と天使幼稚園に続き、めぐみ幼稚園が新制度に移行することや、運営費単価の改定により、平成28年度の約倍となる2億2,700万円を見積もっています。

最後に、子ども19、幼稚園就園特例奨励事業です。18歳未満の子から数えて、第3子目以降の幼稚園児にかかる入園料及び保育料を助成するものです。私立幼稚園5園のうち、子育て支援新制度の幼稚園に移行した3園を除く2園、よいこのくに幼稚園、駒澤幼稚園がこの制度の対象となります。

子ども課については以上でございます。

○杉原図書館長 図書館の予算見積りに関する説明をさせていただきます。

はじめに図書1、図書館活動運営事業についてでございます。開館以来15年を経過した市立図書館の整備を図ると共に、地域の拠点としまして、資料の収集管理と共に利便性の高いサービスを全館で図ってまいりたいと考えております。8,889万2,000円の予算を計上しておりまして、主な変更内容としましては、市内図書館全館の図書資料を管理する図書館システムの更新に伴う費用といたしまして、876万4,000円、また市内全域で毎日図書の流通を行っている車両のリース終了に伴う公用車購入費用といたしまして、322万1,000円を見積もっているところでございます。

次に図書4、ブックスタート事業でございます。5年目を迎える本事業は、本を通した親子のふれあいはもとより、乳幼児期から本と親しみ、親子や家族そろっての読書習慣を作る役割を果たしているところでございます。184万5,000円の予算を計上しているところでございますが、橋本育英福祉基金を財源といたしまして、赤ちゃんと保護者5

50組を対象に、ブックスタートパックを送り、成長段階に応じたフォローアップ事業の充実を図ってまいりたいと考えているところでございます。

図書館の説明は以上でございます。

○川原緑陵高等学校事務長 緑陵1、学校管理事業でございますが、次代を担う人材を育成するための教育活動の推進や、教育諸条件の整備、学校経営組織の適切な運営、施設設備の効率的な管理運営に努め、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図ることを目的とした事業でございます。5,439万円を計上しております。スポーツ総合コースや駒澤跡地の室内練習場や野球場の基本的な整備は終わりました。通常の維持管理経費となっております。平成28年度の予算と比して、1,487万7,000円ほど減となっておりますが、これは野球場のナイター設備の工事請負費の減が主な要因でございます。

次に緑陵2、教材教具整備事業でございますが、質の高い教育環境を維持し、特色ある教育活動を実施するために必要な教材教具の整備を進める事業でございます。2,664万6,000円を計上しております。28年度予算と比して、455万2,000円の減となっておりますが、これはトレーニング機器の購入費500万円が整備終了に伴って減となったことが要因となっております。

以上でございます。

○三角教育長 ただ今、協議12についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等がございましたら、お願いいたします。

○武蔵委員 最初に部長から、全体予算で一般財源が去年と比べて4億2,000万増という話がありましたが、中身を見ると学校給食課で2億、あとは子ども課の増加があるということで、必然的に増加する部分でもあると思いますので、ぜひその分ほかで削ることのないようお願いをしたいなと思います。それから、学校教育の14ですけれども、大幅に前年減額ですけれども、特に大きなものは何かありましたでしょうか。

○加藤学校教育課長 14番、中学校管理事業についての減額要因の質問でございます。これにつきましては、前年度に教科書の改訂がございまして、整備費として1,000万円を計上しておりました。

○三角教育長 そのほか各委員からございせんか。

○杉野委員 まず学校教育の19、奨学金給付事業、新規事業ですが、対象の生徒が児童養護施設退所者ということで、特に経済的に恵まれない子供たちにとっては、夢の実現に向けて大きな力になるのではないかと思います。ぜひ実現していただきたいと思うのですが、この退所者等の、最後に「等」と書いてあります。これが何が含まれるのか教えてください。

○加藤学校教育課長 この事業は新規で制度設計をしております。昨年夏から今年の夏にかけて教育部内でも検討を重ねておりました。その中で、教育部として対象者の絞り込みが懸案事項としてございましたが、児童養護施設の退所者及び里親への委託措置解除者を対象者とすることで進んでおりますので、「等」というのは里親のもとで暮らしていた児

童のことであります。

○渡邊委員 その奨学金は、返済するかしないかが随分話題になってますが、市の奨学金は、返済はその子ども達についていくものなのでしょうか。

○加藤学校教育課長 現在、育英会で償還型奨学金がございしますが、それではなく給付型、要は交付をするという奨学金を創出できないかということで、これは償還をしなくても済む給付型の奨学金を新たに考えるということで予算を計上させていただいております。先ほど国も給付型ということで、償還をしなくても済む奨学金も制度設計に取り組んでいるということが報道されております。教育部としても給付型として、制度設計をしたところがございますけども、国の動きも注視し、財政当局と、あるいは市長ヒアの経過を見ながら進めていきたいと思っております。

○渡邊委員 ぜひお願いしたい。

○三角教育長 よろしいですか。ほかにありませんか。

○武蔵委員 指導室の2番、名称が変更ということですがけれども、予算的に今年度と同様の要望ですが、より効果が上がるのであれば、増額要望しても良いのではないのでしょうか。今年度は、こういう形で学校からここから企画が上がってきて、予算を抑えた状態で進んでいるのか、万遍なく渡っているのかと、それから効果が出ているのかという部分でいかがでしょうか。

○兼平指導室長 予算の2倍から3倍要望があり、査定して落としているというのが現状でございます。効果につきましても、前回の「みらい広がる～」を創出したときに、学力向上に資するというのが大きな柱としてありました。小中学校の様子から徐々に成果は出てきていると思っております。ただ、増額については財政事情もございしますので、現状は最低でも維持したいということで、今回出させていただいたところでございます。

○武蔵委員 状況としてはわかりますけれども、柱の部分というものはしっかり抑えていけないといけないかなと思っております。

○三角教育長 ほかにございますか。

○杉野委員 指導室の7の2つ目、囲碁教室ですが、市として非常に特色ある事業のひとつかなと思っております。それで学力向上という視点から、その成果と課題というのを教えていただきたいと思います。

あと、生涯学習のほうの郷土科学館のところは、リニューアル検討委員会を設けて、中身の検討をするということで、非常に良い取り組みだと思っております。市としても重要な施設なのかなと思っておりますが、バラ園やグリーンランドの隣で、市内外の方も利活用があるという観点から検討をお願いしたいなというふうに思います。で、今年度の予算と比較すると約500万近く減額になってはいますが、来年度の運営に支障がないのかをお聞きします。

それともう1点、教育施設課の教職員住宅の件です。60戸の補修等の予算が掲げられてはいますが、現在の入居状況、空き住宅だとか、取り壊し必要な住宅等、教職員住宅の

現状について教えていただければと思います。以上、よろしく申し上げます。

○兼平指導室長 学力向上対策事業の囲碁事業についてでございますが、成果と課題ということで、ご質問がございました。日本棋院のアナウンスですと、大学の研究機関による調査では、囲碁が学力向上に効果があるという研究成果が出ていると言われております。しかし、短期ですぐ成果が出るような性質のものではありません。

もうひとつ、これは課題とも絡みますが、現在は市内の5校、3年生4年生で行っています。これは総合的学習の時間の枠内でやらざるを得なく、それぞれのカリキュラムの問題もあり、現在はその学年でしか実施できていないという状況にございます。これが、例えば3年生から6年生までやっていける、又は中学校もその受け皿ができるようになってくると、もっと成果が上がるのではないかと考えておりますし、普及を働きかけて、継続的に取り組んでまいりたいと思っております。

以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 岩見沢郷土科学館管理事業の500万円減額についてですけれども、それにつきましては、今年度、北村郷土資料コーナーの開設ということで、550万を予算計上させていただきました。12月に開設される予定ですが、この事業費分差額が、550万円減となっております。その後リニューアルにかかわる検討委員会を来年度立ち上げいたしますけれども、この基本構想の計画につきましては、来年度から30年度の上半期頃まで、1年半程度をかけ構想計画策定する予定であります。来年度につきましては、その検討委員会の報償と、あと先進地の視察にかかわる旅費等の経費ということで、44万8,000円を計上させているところでございます。

○清水教育施設課長 教職員住宅の管理事業についてのご質問でございます。入居者の現状でございますが、現在は、11月1日現在で60戸のうち入居者数は34戸となっております。ここ数年はほぼ同様の数字で推移してございます。解体につきましては、ここ数年解体は実施しておりません。解体については現在、市で公共施設管理計画を設定しており、次年度以降教育施設についても計画を立てていく予定でございますので、その中で検討してまいりたいと考えております。

○三角教育長 ほかにございますか。

○武蔵委員 北村ゲートボール場整備事業が新規計上されているほか、全体を通して、学校施設、教育施設課と生涯学習・文化・スポーツの関係では、修繕費がかなり予算要求されていますけれども、過去から先延ばしされている部分もあると思います。あんまり先延ばしにすると、余計な経費が発生すると思うので、どこかでしっかりと結論を出していただきたいと思います。

○山下教育部長 公共施設の管理については、早めに整備していく必要があると市でも考えており、計画の策定を出来るものから早期に決めていかなければならないと考えています。

○三角教育長 ほかにございますか。

○秋山委員 先程の北村ゲートボール場の整備事業ですが、遊水地の関係で立ち退きの予定としても多分入った中で、ある程度要望があって残してほしいということだと思いますが、地元要望はかなりあったのでしょうか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 ゲートボール場の移転につきましては、北村支所で、遊水地移転先の作業をすすめておりまして、豊里の自治会から、ぜひゲートボール場の敷地を移転先という話を北村支所が受けて、ゲートボール協会と、関係する建設部と調整して、最終的にゲートボール場の敷地に移転をして、改善センター横の公園敷地に新たなゲートボール場を移転することに決まっております。教育委員会としては、それを受けて工事費を計上したものであり、事前に利用団体との調整を済ませた中で、今回予算を計上したという流れになっています。

○三角教育長 ほかによろしいでしょうか。それではこの件についてご意義がなければ、このような形で決定させていただいてよろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○三角教育長 こちらは教育委員会の予算要求の内容として、予算確保のために取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、その他に移ります。

委員の皆さんからなにかございませんか。

（「ありません」という声あり）

○三角教育長 特になければ、事務局からなにかありませんか。

○兼平指導室長 お手元に「平成29年度岩見沢市の教育を推進するにあたって（学校教育）」という両面刷りの資料があると思います。これは平成29年度の行政方針の骨子となるもので、市内の校長先生が学校経営計画を立てるにあたり、行政方針発表に先立ってお伝えしていくものでございます。表面の教育の動向につきましてですが、I教育の動向の2及び3ですが、これは次期学習指導要領の論点整備などを参考に、昨年大幅に書き替えたところでございまして、今年度は変更しておりません。

昨年まで「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」ということで施策を進めてきておりました。三角教育長に代わり、「子どもを大切に作る岩見沢の教育づくり」ということで、議会で教育の方針についても述べたところでございますので、このようにタイトルを変えさせていただきます。

また、6つの施策に関してですけれども、今年度の教育行政方針策定の際に、教育大綱と項目をすり合わせたということがございました。今年度もそれに沿って柱立てをさせていただきました。内容は大きく変わっておりませんが、1・新しい時代に対応できる力の育成 の（2）小中連携による9年間を見通した学力向上の取組の推進、これ自体は変わっていないのですが、項目として、南小学校が取り組んで成果を上げております、教えて考えさせる授業の推進、と記載しました。また（3）、学力向上の土台となる安定した学級集団づくりという項目を付け加えたところでございます。それから2．豊かな人間性と健

やかな体を育成する教育の推進でございます。(1)意図的な仲間づくりにより自尊感情・自己肯定感を育成するピアサポートの推進といたしまして、来年度はピアサポートを市内の全校で推進する体制を組んでいきたいと考えております。そのほかの項目につきましては、文言を整理した程度で、内容的には大きく昨年と変わっておりません。

以上でございます。

○三角教育長 これまでは、子どもが輝く、子どもが主役、と子どもが主語になっていました。今回は子どもを取り巻く、例えば大人・学校・あるいは地域が主語になるような、子どもを大切にすること、子どもに対して与える教育づくりということで、こういう標語に変えさせていただきました。ひとつは授業づくり、もうひとつは授業の土台となる学級集団づくり、そういったことがこれから大事になってくるという視点でとらえ直しています。まず指導室長からありましたけども、各委員さんからご質問等ございますか。

○武蔵委員 子どもが輝く、これは子どもが主語というよりも子どもが輝くということを実現するためにどうするかという理念であり、それも踏まえての事とは思いますが、基本方針は変わってないと思っております。

○三角教育長 よろしいですか。

ほかにありますか、その他。

(「ありません」という声あり)

特になければ、来月の定例会の日程ですが、1月17日が第3火曜日となりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。時間は午後2時からということでよろしいでしょうか。場所については、であえーる岩見沢4階の会議室1で行います。よろしいでしょうか。それではよろしく願いいたします。

以上をもちまして第12回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労様でした。

午後3時10分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員